

ケース Bさん(2歳児の母)の場合

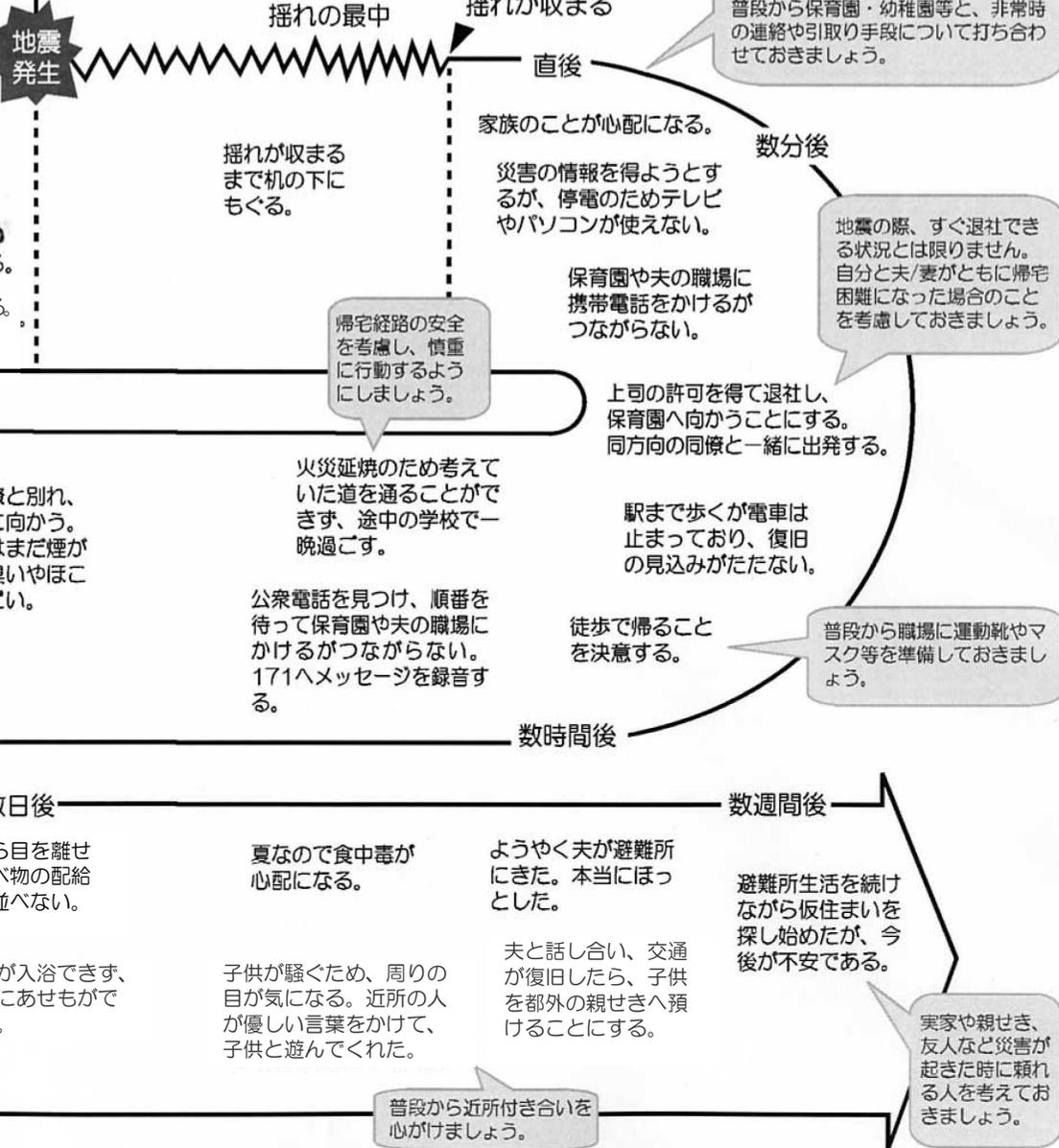
17:00

<p>地震</p> <p>震度6強</p> <p>〈発生〉 夏の晴れた平日 17時</p>	<p>Bさん家族</p> <p>Bさん：会社員</p> <p>夫：会社員</p> <p>長女：保育園児(2歳)</p> <p>自宅： 木造一戸建(築30年) 地震対策：とくになし</p>
--	--

地震発生時の状況



会社で仕事をしている。
夫は会社で仕事をしている。
子供は保育園にいる。



倒壊した家屋

保育園で、子供の無事な姿を見てほっとした。一緒に自宅まで行くが建物の外壁に亀裂が入り、大きく傾いている。もし自宅にいたらと思うとぞっとする。



避難所でぬいぐるみを抱える子供

そのまま近くの小学校へ避難する。

近所の人を見つける。近くでは、倒壊により亡くなった人が沢山いると聞き、ショックを受ける。

自宅が使えず、夫とも連絡がとれないので、不安でたまらない。

翌日

数日後

子供から目を離せず、食べ物の配給の列に並べない。

暑いが入浴できず、子供にあせもができた。

夏なので食中毒が心配になる。

子供が騒ぐため、周りの目が気になる。近所の人優しい言葉をかけて、子供と遊んでくれた。

数時間後

数週間後

ようやく夫が避難所にきた。本当にほっとした。

夫と話し合い、交通が復旧したら、子供を都外の親せきへ預けることにする。

避難所生活を続けながら仮住まいを探し始めたが、今後が不安である。

実家や親せき、友人など災害が起きた時に頼れる人を考えておきましょう。